

初の高校生模擬議会で提言

若者の雇用創出を 鱈ヶ沢町の課題

当町では初めての開催となる鱈ヶ沢町高校生模擬議会が、7月7日、町議場で行われました。

当日は、鱈ヶ沢高校2学年35人の生徒が模擬議会に臨みました。

今回の開催は、選挙権18歳実施を受け、有権者として自覚を持ち、地方自治に関する理解を深めること、また町政に対し発表する機会を提供し、地域への愛着や誇りを醸成することを目的に、鱈ヶ沢町と鱈ヶ沢高校の主催のもと行われました。



後半議長

佐藤 芽衣さん



前半議長

小林 菜月さん

緊張感漂う議場に号鈴が響き、模擬議会が開始されました。

はじめに、指導教諭としてサポートする鱈ヶ沢高校木村朋之先生が高校生議員20人を紹介。

その後、本会議に入り、前半の議長を小林菜月さん、後半議長を佐藤芽衣さんが務め、議事を進行了しました。

本会議では、はじめに東條町長が発言を求め、あまりきつい質問はしないよう、厳しい議会にならないようにと述べました。

一般質問では、前半5人、後半5人に分かれて10人の議員が演壇に立ち、町に対する思いを述べました。各議員からは、町が直



鱈ヶ沢高校

面する人口減少問題を視点とした雇用確保、基幹産業である一次産業を活用した地域振興策などの提言がされました。町側の答弁に対し、全議員が再質問を行い、町政へ鋭く迫りました。現在、県立高校再編の実施計画が議論される中、生徒数の減少傾向にある鱈ヶ沢高校の存続に関する質問では、町の対策について問いたです場面もあり、町議会同様の議論が交わされました。

町の人口減少対策のため地域産業の活性、

鯺高生が考える



議席において堂々と再質問をする高校生議員

みんなで考えた一般質問 地域を見直すきっかけに

高校生議員による一般質問一覧 (敬称略)

議席番号	質問者	質問事項
1番	工藤 琉羽	子供達が遊ぶ環境の整備について
2番	古川 真衣	あじバスのアナウンスについて
3番	成田 樹李	釣りを活用した観光について
4番	寺沢 睦喜	イカの水揚げの減少について
5番	木村菜々美	橋の改修について
6番	平沢 杏菜	白神山地のPRについて
7番	神 優哉	活気ある町作りについて
8番	小野 美穂	閉校した校舎の利用について
9番	三浦 溪一	生徒数減少について
10番	神 嘉乃	冬のイベントを利用した観光PRについて

模擬議会開催にあたり、生徒たちは、まず地方自治について学習。そして、町が策定した「まち・ひと・しごと創生 鯺ヶ沢町総合戦略」から町の現状と課題を考え、班ごとに質問内容を検討しました。

質問する議員は、10の班に分かれた各班から1人ずつ選出。鯺ヶ沢町をより良くするため、町に住む生徒、町外から通う生徒。それぞれの視点から意見や問題点を出し、話し合いを重ね、質問事項をまとめました。



各班に分かれて意見を出し合い、質問事項を検討する生徒たち

◀次のページから、高校生議員による一般質問の内容と町側の答弁をお知らせします

町が抱える課題、取り組みに対しみんなで考え提言！ 高校生模擬議会 一般質問

35人の
意見を
町政へ

一般質問と答弁
の内容を要約して
掲載します。

意見、利用者の声が届いている。
毎月一度、関係者が集う会議の中で情報の共有、対応を協議している。



工藤 琉羽 議員

子供達が安心して遊べる公園整備を

問 公園の遊具が老朽化し、ごみも多い。利用者が減ると思うが、どのような対応を考えているか。

答 佐藤副町長

公園は事故のないよう子供たちが安全安心に遊べるのが一番に優先されるべきと考えている。遊具数は少ないが、専門業者に依頼し、毎年点検し、危険と判定されたものは速やかに修理等の対応している。安全性については十分だと思っております、安心して遊んでいた

だきたい。

ごみについては、ごみ箱が無い場合は、持ち帰るのがマナーと考える。定期的な状況を確認して対応しているが、必要となれば広報や防災無線で周知を図っていききたい。

再質問 安全面では、毎年点検されていて大丈夫のようだが、見た目が古く、子供たちに使わせるには不安が残る。せめて色の塗り替え、遊具を増やすなどはできないか。

また、小さな子供たち

に対して、ごみ捨てのマナーに関するポスターを作成するなどの対策としてはどうか。

答 齋藤福祉衛生課長

確かに老朽化している遊具もあり、色の塗り替えも含め、快適な利用のため適正な管理をして

きたいと思う。

増設については、昨年度、新田町の児童公園に滑り台とブランコを設置した。今後、必要であれば考えていきたい。

ごみについては、ポスター等作成の提案をいただいたので、公園の状況を観察、調査し、適切な対策を検討していききたい。

多くの子供たちが集まって安心して伸び伸びと遊ぶことができるよう、公園の維持管理に努めて

いきたい。



遊具が増設された新田町児童公園



古川 真衣 議員

あじバスのアナウンスの機械化を

問 あじバスのアナウンスがわかりづらく、降車に迷うと聞かすが、観光客にも配慮し、車内アナウンスを機械化してはどうか。

答 佐藤副町長

本年4月に、スクールバスと路線バスを一体化したコミュニティバスあじバスの運行を開始した。3カ月を経過した現在、

運行事業者はもちろん、小、中学生や一般利用者も慣れていない部分もあり、多くの問い合わせや

意見、利用者の声が届いている。
毎月一度、関係者が集う会議の中で情報の共有、対応を協議している。

指摘のあったアナウンスに関する声も寄せられていて、運行事業者に対して乗務員への適切な指導の徹底をお願いした。

アナウンスの機械化は現在のところ考えていないが、乗務員による人的対応で解決できない場合は、機械化も一つの検討議題となると考えている。

再質問 機械化にお金がかかるのは、承知しているが、いまだ改善されていない。人件費を考えると機械化の方が低コストで、正確な案内ができ、利用者が増えると考えているが、検討してはどうか。

答 小笠原政策推進課長

あじバスの運行は2事業者に委託し、1日13路線、バス13台、57便が走行しているが、アナウンスは、運転手がヘッドセットマイク等を利用して知らせている。コスト面では、機械化した場合、その分が増額となる。



運転手がマイク等を使用して降車などを案内

アナウンスの聞きづらさは、運転手それぞれの発声や滑舌、声の大きさ、マイクの音量、エンジン音、車内状況など様々な要因が考えられる。事業者に対してアナウンスの適切な対応をお願いしているが、改善されていないという指摘があるので、再度事業者に対して要請する。

人的対応で問題が解決できない場合は、機械化導入も含め改善策を検討していく。



成田 樹李 議員

釣りツアーで観光客の誘致を

問 近年、海外からの観光客が増えている。

更なる増加や、町を賑やかにするためイトウ釣りや海釣りを体験できるツアーなどを実施してはどうか。

答 佐藤副町長

釣りをいかした観光メニューのご提案は、町の魅力に触れると同時に、町素材のPRに効果的に考える。

いまシーズン真っ只中の赤石川のアユ、全国で唯一養殖に成功しているイトウ、漁獲高県内上位のヒラメなど、町には魅力的な素材がある。

例えば、釣り堀等施設を新たに整備するのは難

しいが、釣り愛好家に対し遊漁船情報のPR、その時期に釣れるタイムリーな魚情報を提供し、町に足を運んでもらう取り組みを考えていきたい。

先月、釣具店が主催したノドグロ釣り講習会や、町も支援している赤石川金鮎友釣大会などには県内外から多数の釣り客が訪れ、大いに町のPR、観光的要素の充実に役立つ。

今後も大会等支援をしながら、観光客の呼び込みに努力していきたい。



当町にはたくさんの釣り客が訪れる (わんど前)

際には魚釣りだけでは不十分であり、食を取り入れることも必要と考える。今後の観光施策を推進するにあたっては、成田議員の提案を参考とさせていただきたい。

再質問 釣り愛好者やその地区のためのイベントがあるかわかったが、観光客向けに、釣りツアーを企画し、その中に鱒高生が好きなチキンボーなどの食体験を取り入れると、釣り未経験者も参加しやすいと思うがどうか。

答 工藤観光商工課長

質問のあった観光客向けの釣りイベントのなかには、イカ焼きやチキンボーといった食の要素を取り入れるという提案だが、確かにツアーを組む



寺沢 睦喜 議員

水産資源回復にイカの養殖研究を

問 水産資源の減少は漁師の生活にも影響し、特にイカの水揚げの減少が問題となっている。

町漁業の回復のために、極めて難しいとされるが、イカの養殖技術の開発が必要と考える。試してみてもどうか。

答 佐藤副町長

町議会でも漁業振興策の質問が出ている。(関連記事 12ページ菊谷議員一般質問の答弁参照)

イカの漁獲量は、当町に限らず全国的に大きく落ちこんでいるが、原因は特定されていないのが現状である。

イカの養殖は、餌の供給、共食いを避ける施設



ヤリイカの水揚げ作業の様子

るが、当町ではヤリイカが主力の魚種となっている。いずれにしても現時点ではイカの生態が解明されていないことから、養殖技術は非常に難しく、成功した事例は発表されていない。

が必要になり、費用対効果の観点から考慮するとかなり難しいものがあると思っっている。

再質問 イカの養殖が困難なのはわかったが、町ではイカの水揚げについて何らかの対策をしているのか。

町が中心となって、他町と協力し養殖技術を研究すれば、費用も軽減されると思う。検討してみてもどうか。

答 二戸農林水産課長

全国的に今、問題となっているのは、スルメイカの水揚げの減少であ

広域的な取り組みによる研究となると、10年程前には、町内に水産試験場があったが、現在は平内町にある青森県産業技術センター水産総合研修所に統合され、ここではイカに関する調査など、幅広い調査研究が行われている。その調査結果に注目していきたい。

町としては、関係機関と連携し、イカに固執せず、水産資源の維持、管理に努め、漁業振興を図っていききたいと思う。

また、寺沢議員のように若い方が、漁業に興味を持ち、将来漁業関係に従事し、町の水産業に貢献いただくことを期待している。



木村 菜々美 議員

橋の改修で、住民の安全確保へ

舞戸町の中村川に架かる赤い橋は、劣化が進み危険な状態である。高齢者や小学生が利用しているので補強するべきだと思つ。

佐藤副町長

ご指摘の橋は、舞戸の岩谷地区と新田町の間に、町が昭和56年に架けた人道橋で、多くの方に利用されている。

経年劣化でさびもあり、今年5月に簡易的な修繕を行い、先日も建設課で現地確認し、安全に



設置から36年経過した新富橋(通称赤い橋)

渡れるよう対応に努めている。

新富橋が架かる中村川は、県が管理する二級河川で、ここ四、五年は幾度となく、避難指示や警告を出すほど氾濫警戒水域に上昇している。

県では氾濫を抑制し治水安全度を上げるため、平成19年度から38年度まで河川改修工事を行う予定であり、これまで明海橋と舞戸橋の架け替えが終了している。

いま、町として新富橋の大規模の改修はできないが、十分安全面に留意して、住民が通行できるように対応していく。

再質問 安全に渡れるよう努めているとのことだが、走るだけでも揺れることがある。具体的にどのような対応をしているのか。また、架け替えの際の素材、架け替え工事の予定はあるか。

走る揺れるとのことだが、鉄製なので響くことはあり得ると思う。橋梁点検の講習を受講した職員がパトロール、点検を行い、安全上問題ないと考えている。先般も腐食のあった床板、欄干の溶接と塗装を行っている。

今建設課長

架け替えは、中村川の河川改修工事の中で対応するため、現時点で素材等を示すことはできない。

今後、県と協議するなかで、素材等の説明は可能になると思う。県の計画では、今年度は護岸工事と用地補償を予定し、事業費は4億1000万円である。

津軽森山頂からみた白神山地



平沢 杏菜 議員

アニメや漫画で町や白神山地をPRしてはどうか

白神山地は、もののけ姫のモデルになった場所があるのにあまり知られていない。

日本のアニメや漫画は世界でも人気があるのだから、オリンピックに向けて、白神山地がものけ姫のモデルとなった森であることを宣伝すれば、白神山地も賑わうと思うが、どうか。

佐藤副町長

調べたところ、ものけ姫の制作にあたり、美術担当者が白神山地を訪れ、町などで写真撮影や絵を描いたりし、そのイメージが作品にちりばめられているようである。

2020年の東京オリンピックに向け、全国でインバウンド事業が展開されているが、当町では観光パンフレットを英語、中国語等で表記し紹介している。

また、冬期間は、台湾からのチャーター便でスキーを楽しむ観光客が訪れ、相撲館や酒蔵の見学、町内での買い物へ案内するなど、インバウンドにも力を入れている。ご質問にあったものけ姫を活用することは、名義使用、著作権など難しい問題がある。

観光客の誘致にあたり、白神山地のPRも含め、いろいろな情報発信に努めていきたい。

ものけ姫を活用することは難しいとわかったが、海外では日本のアニメが好きな人は多い。鱒ヶ沢町を舞台にしたアニメや漫画、映画等を作り、白神山地や町を広めてみてはどうか。

工藤観光商工課長

平成23年に鱒ヶ沢を舞台にした映画わさおが上映され、翻訳されたDVDが東南アジア各国で販売されている。映画を機に、わざわざお会いするため、国内外からイカ焼き店を訪れる観光客が増加したと聞いています。

アニメや漫画、映画に絡めて地元をPRする手法は、ロケ地として広く内外に向けた宣伝効果が期待できるとの考えで、全国各地で誘致の動きが見られるが、当町においてもその可能性を探るとともに、検討していきたい。



津軽森山頂からみた白神山地

若者への創業支援で町活性化を



神 優哉 議員

○ 当町の人口減少が進む要因の一つに仕事が少ないのでは、と私たちは考えた。

仕事を増やすために若者の起業をバックアップする方針はあるのか。

例えば鱒ヶ沢高校で実施している楽天IT学校や*SBP活動で得た知識を活かせるような環境づくりを行い、町と共同で特産物をPRする会社の設立、優れたアイデアへの補助金交付などのバックアップをしてみているかどうか。

これ以上町の人口を減らしたくない。もっと活気ある町にしたいと思いい、質問する。



SBP活動で町の物産をPRする鱒高校生(昨年の様子)

東條町長

○ 町では、創業支援事業計画により町商工会、関係機関との連携体制を整備し、創業希望者に寄り添った支援をしている。

内容としては、新創業者や新規分野に挑戦する起業家への設備導入等の資金補助、空き店舗活用時の家賃補助がある。

若い世代が挑戦することとは、町の元気活性にも繋がるものと考え、引き続き支援制度の拡充等に努めていく。

再質問

鱒ヶ沢町の特産品を町と共同でPRする会社の設立計画はあるのか。

小笠原政策推進課長

○ 現時点では、町と共同でPRする会社設立の計画はないが、町では、人口減の対応策、雇用創出対策として「まち・ひと・しごと鱒ヶ沢町総合戦略プラン」というものを策定している。

このプランの中に地域商社の設立を掲げている。

地域商社は、魅力ある地域産品の販路を生産者に代わって新たに開拓し、販売の拡大を図る役割を担うものとされている。

町にとっても新しい概念であり、情報を収集し、関係団体と意見交換を重ねている。

今年度、地方創生の取り組みを推進する部署も変更となったため、改めて地域の実情に見合った地域商社の機能や役割を慎重に考え、事業の早期実現に向かって努めていきたい。

閉校校舎の活用で町おこしを



小野 美穂 議員

○ 閉校した校舎を利用し、地元の食材を使った食堂を開いたらどうか。

町には働く場所が少なく、新しい雇用の確保、町PRにも繋がると思う。

具体的に、日本一長い廊下で有名な旧赤石小学校を利用し、メニューも地元の子供たちが考えるなど、町民みんなで作ってあげると町おこしの一環として検討いただきたい。

神教育長

○ 閉校となった校舎は、有効活用について様々な検討し、一部、校舎や敷地を貸与し、活用されているケースもある。

だが、老朽化が著しく、施設規模が大きいため再

利用には大規模な修繕が必要で、維持管理費も多額となる。また、立地条件により利用価値が大きく左右されると考える。

ご提案の地元食材を使用した食堂案は、一つのアイデアとして受け止め、ぜひ検討していきたいと思う。

千島財政課長

○ 平成22年に学校跡地等利活用基本方針のもと活用案を示し、公募した結果、民間企業へ工場として貸し付けした校舎もある。

木造校舎は老朽化が進み、貸し付けがない場合は順次解体する方針である。鉄筋コンクリート造校舎は、地域の諸団体や町が倉庫として利用しているが、現在、農業関係の活用検討の話がある。

宿泊施設のご提案は、町としても宿泊施設をいくつか持っているため、整備は費用対効果の面からも難しいと考える。事業協力については、ふるさと納税、または、インターネットのクラウドファンディングで寄付を集める手法もあるが、より良い活用方法に繋がるよう今後の廃校活用を考えていきたい。



木造校舎で日本一長い廊下の旧赤石小学校

*SBPとは…ソーシャルビジネスプロジェクトの略。地域社会の課題をビジネスの手法を用いて解決していこうという取り組み。



三浦 湊一 議員

鯉ヶ沢高校の生徒数減少への対策は

問 高校の生徒数が減少傾向にあり、募集停止になる高校が県内でも多く見られる。

鯉ヶ沢高校の生徒数減少や廃校を防ぐために、町ではどのような対策を考えているか。

答 東條町長

生徒数の減少対策については、魅力あふれるまちづくりはもちろん、特色のある教育プログラムの導入や学校の魅力を高めていくことが重要だと考える。

現在、町では楽天株式会社、青森銀行と協定を締結し、地域活性化に取り組んでおり、その中で高校生には地域の魅力を



楽天IT学校の様子

さを認識するプログラムを準備しているとのことだが、その内容は。また、いつ実行するのか。そして町立化は難しいとのことだが、できないとの回答でよいか。

答 佐藤副町長

プログラムの内容は、現在進めている。*楽天IT学校において、インターネットビジネスの魅力と可能性の体感を目的に、本年度スタートしている。

また、今年度も地域資源を活かした取り組み、SBP活動に助成、応援していくもの。

町立化は、多額な財政負担、高等教育のノウハウ、教職員の採用・研修関係等が課題となり、町の少子化の現状を考えると、極めて厳しいと言わざるを得ない。

入学志願者が増えることが存続に繋がると捉え、今後も県立高校としての存続を強くお願いしていく。

再質問 特色ある教育プログラム

導入、町の良



神 嘉乃 議員

冬のイベントを利用した観光PRを

問 鯉ヶ沢町の夏は、行事や観光スポットが多いが、冬はスキー以外の観光場所がない。

もっと人を呼ぶために雪まつりを行ってはどうか。

答 東條町長

ご指摘のとおり冬期観光は手薄な状況だが、昨年は、台湾など雪になじみが少ない外国人観光客を誘致し、地吹雪体験を取り入れたツアーを試行した。大変喜んで帰られたと聞いている。

また、近年は駅前広場で、雪灯籠やミニかまくらとキャンドルで雪明かりを演出したキャンドル

ナイトを開催し、冬のイベントとして喜ばれている。当町の冬場は気候が厳しいが、状況に合ったイベントがあればと考えている。

また、確定はしていませんが、長平のスキー場にハーフパイプを設置したいという業者も出ています。

ハーフパイプ競技も考えているところであるが、現地は風が強く、簡単にいかないと思うが、業者ともいろいろ検討していきたいと考えている。

答 工藤観光商工課長

冬の観光振興に関するご提案は、とてもユニークで面白い発想である。コンテンツ形式により

全国から出場者を募る考えは、町の交流人口拡大と同時に、地域の認知向上やPRにつながる手立として非常に有効と思う。

当町においては、スキーや温泉などの観光資源、旬の魚介など冬を楽しむ地域環境にあることから、イベント等の提案については、地域への経済効果も含め精査し、検討していきたい。



冬期間は閉園している大高山総合公園 (写真はステージ広場)

*楽天IT学校とは…電子商取引(インターネット上の商取引)について商品開発や販売体験などを通じ、実践的に学ぶ授業のこと。

模擬議会を終えて



参加した鰯ヶ沢高校2学年35人の生徒、学年先生と一緒に。
前列左から、鶴田教育委員長、神教育長、鰯ヶ沢高校百川校長、東條町長、一戸町議会議長、佐藤副町長

本会議終了後、町議
会一戸議長が講評を述
べました。

また、参加した生
徒、百川校長先生に感
想をお聞きしましたの
で、その内容を掲載し
ます。

■講評■

一戸千代久 町議会議長
みなさんの質問は、本
当にすばらしい内容ば
かりでした。

我々町議員も今後課題
として議員活動にいかし
ていかなければならな
いと考えます。

みなさんは投票できる
年齢に近づいています。
この経験を生かして政
治に関心を持っていただ
きたい。

そして、みなさんの力
で鰯ヶ沢町の人口減少を
食い止めて、すばらしい
まちづくりをしていただ
きたいと思います。

●感想●

桜庭 理沙 議員

鰯ヶ沢のことをあまり
知らなかったのですが、
高校生議会のおかげでい
ろいろ知ることができま
した。

吉田 翔 議員

今回、町の問題やこれ
からについて話し合った
ことをきっかけに、より
良い町になることを願っ
ています。

神 琢海 議員

高校生議会を通して、
町の抱えるいろいろな問
題についてしっかり考え
ることができて良かった
と思います。

小林 菜月 議長

貴重な場で議長を務め
てとても緊張しました。
気が抜けない議会で最
後までミスなくやり遂げ
ることができて良かった
です。

佐藤 芽衣 議長

議長を務め緊張しまし

たが、自分の成長につな
がるいい経験ができた
た。

町に対する意見を聞き
て自分たちができること
があると思うので、ぜひ
やっていきたいと思いま
す。

小山内 拓海君

(傍聴生徒)
議会の内容、議員の話
に対し、よく考え答えて
いただいて有意義な話し
合いになっていたと思い
ます。

三浦 歩己君

(傍聴生徒)
議員の発表を聞いて、
町が抱える問題とこれか
らの町について真剣に考
えてくれていてと改めて
わかりました。

戸沼 柊二君

(傍聴生徒)
議員の発表を聞いて、
みんな町の発展のために
真剣に考えていることが
改めてわかりました。

■百川 弘通 校長

一年経って、生徒たち
が成長したと感動してい
ます。

町長はじめ各課長に真
摯に答えていただきあり
がたいと思います。

我々教職員、生徒たち
にこれからどんどんいろ
いろな形で、将来力強く
生きていける、そして、
いずれ鰯ヶ沢の町を活気
づける、そういう若者を
育てていくという思いを
また新たにしているこ
ろです。

今日は、本当にありが
とうございました。

◇傍聴者からの感想◇

・町を良くするため高校
生が真剣に考えていて
感心した。町は何か一
つでも実現させてほし
い。

・質問内容も態度も立派
で素晴らしい。町のこ
とを真剣に考えていて、
町の未来は明るいと思
った。これからの活
躍に期待。